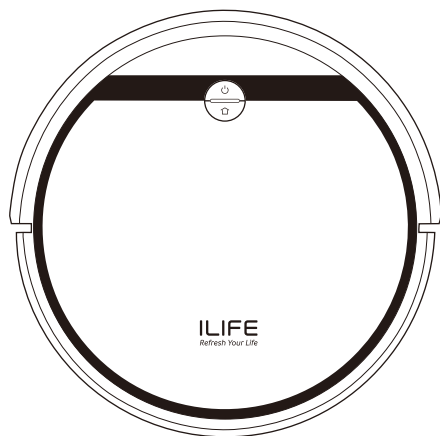


ILIFE

ロボット掃除機
V3x
取扱説明書



保証書別添付

このたびはILIFE V3xロボット掃除機をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み
ください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

本書について

本書は、本製品の基本的な操作を記載しています。

ご使用になる前に、また、ご使用中にわからないことがあったときには、この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。特に「安全上のご注意」(→5 ページ) は必ずご覧ください。

本製品には保証書が添付されています。保証書は「お買い上げ日・販売店名・注文番号」などの記入を確かめたうえで、本書とともに大切に保管してください。

- 本書では V3x ロボット掃除機を「V3x」と記載します。
- 本書内のイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

ILIFE カスタマーサービス



jpsservice@iliferobot.com

より詳しい情報は 公式サイト <https://www.iliferobot.jp>

UM12042024-03

Copy right © ILIFE INNOVATION LTD.

もくじ

同梱品について	4
安全上のご注意（必ずお守りください）	5
取り扱い上のお願ひ	8

製品構成

各部の名称	9
充電ドック	10
ロボットボタンの状態	11

使用方法

充電のしかた	12
ウォータータンクのご使用方法	15
掃除モード	17

アプリコントロール

アプリのダウンロード	19
------------------	----

メンテナンス

ダストボックスとフィルターのお手入れ	20
ウォータータンクセットのお手入れ	21
サイドブラシのお手入れ	22
ほかの部品	23

お困りのときは

エラー音について	25
----------------	----

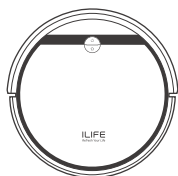
お知らせ

製品仕様	26
保証書について	26

同梱品について

ご使用前に、以下の同梱品が揃っているかどうかを確認してください。

本体



充電ドック



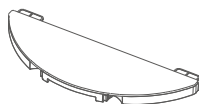
リモコン



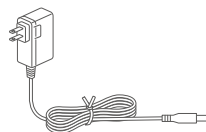
モップ



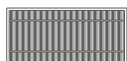
モップパッド



AC アダプター



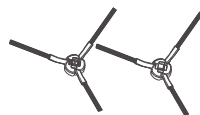
高効率フィルター
(1 点装着済み、予備 1 点)



スポンジ



サイドブラシ
(左右各 1 個、予備 1 セット)



リモコン用単4形アルカリ乾電池 (2本)



取扱説明書
(本書)



● 保証書

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 人への危害や財産の損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「人が死亡、または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

図記号について

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	必ず実行していただくことを示す記号です。

危険

■内蔵電池の取り扱いについて

	誤った使いかたをしない 液漏れ・発熱・発火・破裂・感電などの原因になりますので、次のような使いかたはしないでください。 • 火の中へ投入したり、加熱したりしない • 分解・改造をしたり、くぎで刺したり衝撃を与えたりしない • 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、こたつや布団の中、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など）で充電・保管・放置しない • 水などの液体で濡れた状態では使用しない
	コネクタに金属などの導電性異物を接触させない ショートによる液漏れ・発熱・発火の原因になります。
	専用の AC アダプターや充電ドックを使用する 充電には専用のACアダプターや充電ドックを使用してください。指定以外のACアダプターや充電ドックを使用すると、過充電により液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。



警告

■ 乾電池の取り扱いについて

	単4形のアルカリ（AAA タイプ）乾電池以外は使用しない 故障の原因になります。
	新しい乾電池と古い乾電池や種類の違う乾電池を混ぜて使用しない 液漏れ・発熱・破裂の原因になります。
	乾電池は正しい極性で取り付ける 液漏れ・発熱・破裂の原因になります。
	電池を使い切ったときや、長期間使用しないときは電池を取り外す 液漏れ・発熱・破裂の原因になります。
	使用済みの電池の廃棄は、お住まいの地域の条例に従って廃棄する 火災・事故の原因になります。



警告

■ 内蔵電池の取り扱いについて

	濡れた手で電池を触らない 発熱・発火・感電の原因になります。
	電池が液漏れしたときは素手で触らない 失明などの原因になります。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、 ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗 い流してください。
	V3x 純正の内蔵電池を使用する 液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

■ 本体・付属品の取り扱いについて

	引火性の高いもの、火の気のあるもののそばで使用しない、吸わせない ストーブなどの暖房器具、たばこ、灯油などのそばで使用したり、食用油などを 吸わせたりすると、爆発や火災の原因になります。
	誤った使いかたをしない ・ 濡れた手で触らない ・ 水洗いしない（水洗いできる付属品を除く） ・ 分解・改造をしない火災や感電、けがの原因になります。
	AC アダプターやコードを傷つけない ・ 無理に曲げない。引っ張らない ・ 重い物を載せない。束ねて使用しない火災や感電の原因になります。

	雷が鳴ったら AC アダプターに触らない 感電の原因になります。
	本体の排気口をふさがない 故障や発火の原因になります。
	子どもだけで使用しない、乳幼児やペットの近くで使用しない けがや事故の原因になります。 自分で意思表示ができない人や操作できない人には使用させないでください。
	お手入れの際は、AC アダプターを取り外し、電源スイッチをオフにする 火災や感電の原因になります。
	AC アダプターのほこりはこまめに取り除く 火災の原因になります。
	異常や故障時には、ただちに使用を中止する 発火や感電の原因になります。異常や故障の場合は、V3xの電源を切り、ACアダプターを取り外してください。

注意

■ 本体・付属品の取り扱いについて

	高い場所や不安定な場所に置かない 本体や付属品が落ちて、けがや故障の原因になります。
	V3xに乗ったり、重い物を載せたりしない けがや故障の原因になります。
	落下防止センサー（→ 22 ページ）にシールやテープを貼らない センサーが正常に動作できなくなり、落下による故障の原因になります。

取り扱い上のお願い

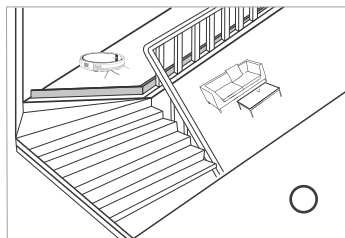
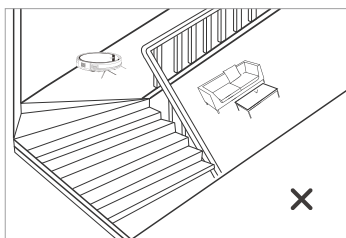
V3x をより快適で安全にご使用いただくため、以下の事項をよくお読みください。

■ 部屋を片付ける

- ご使用前に、V3x のブラシや吸い込み口が傷つく可能性のあるもの（電源コード、衣類、ガラス、照明器具、毛足の長いカーペットなど）、または破損する危険があるものを床から取り除き、カーテンやブラインドは床につかないようにまとめてください。
- アクセサリーなど、V3x が吸い込むおそれがあるものは、あらかじめ床の上から片付けておいてください。

■ 利用できるお部屋や条件を確認する

- 柔らかい材質の床面、ワックス塗りたて時、またはフロアコーティングを施したフローリングでは、ご使用をお控えください。
- 漆喰やけいそう土などの塗り壁の近くで使用しないでください。
- 風呂場などの濡れた場所や屋外で使用しないでください。
- 10mm 以上の段差のある場所では、移動できない場合があります。
- 床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。
- 本製品はご家庭の屋内での使用を想定しており、屋外、業務用途、掃除以外の目的で使用しないでください。



■ ご利用後のお手入れ

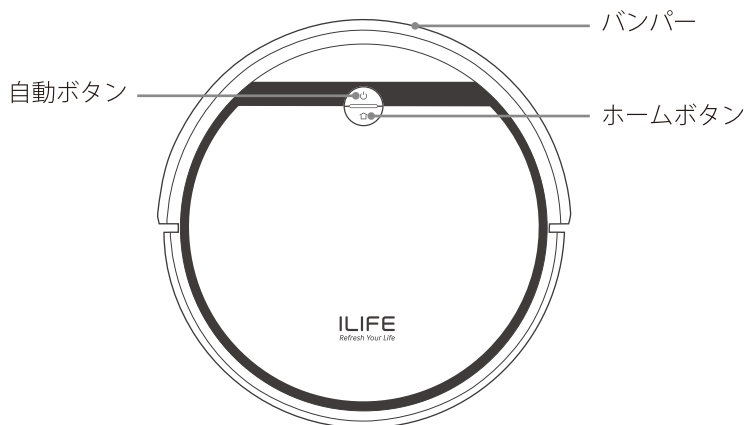
- 掃除後、毎回ダストボックスを空にし、フィルターを取り外して、お掃除ブラシでゴミを取り除いてください。

製品構成

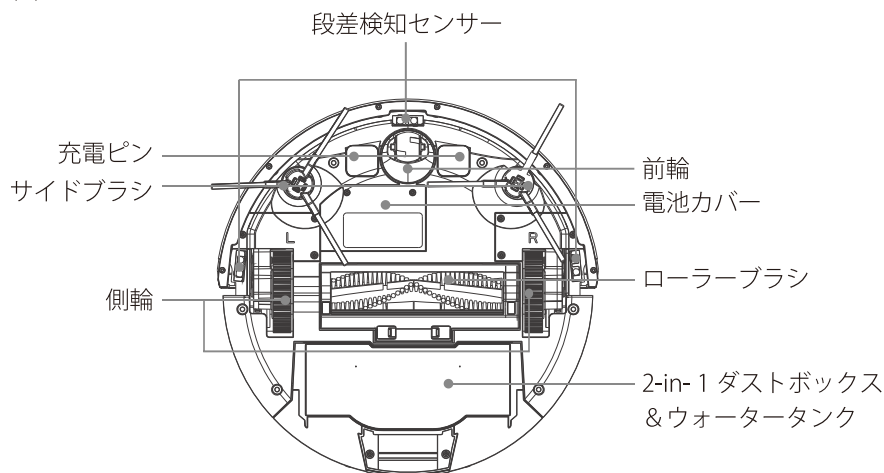
各部の名前

■ 本体

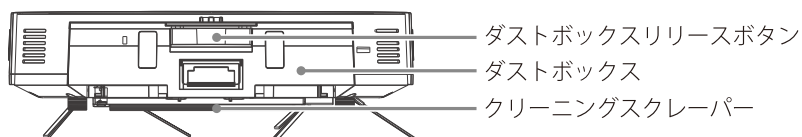
<上面>



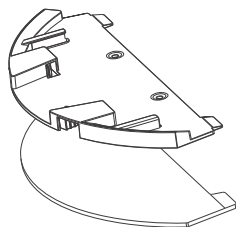
<底面>



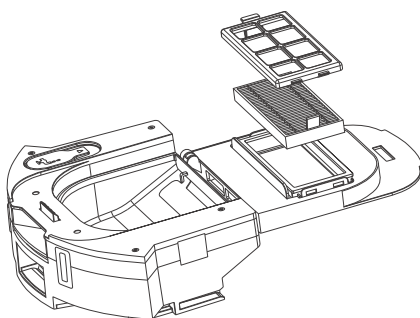
<側面>



<モップセット>



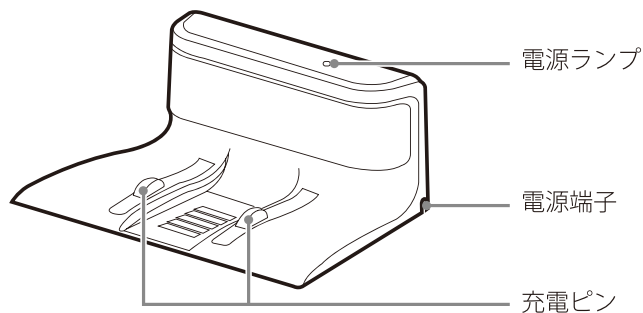
<2-in-1 ダストボックス&ウォータータンク>



❗ご注意

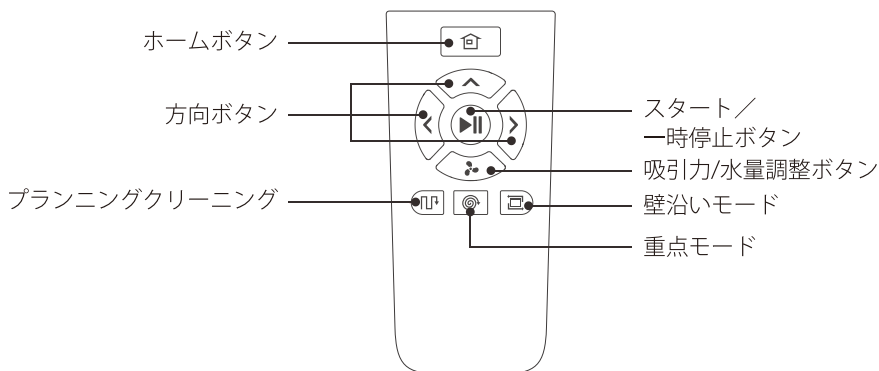
- ウォータータンクに水が満たされると、障害物を乗り越えたり坂を登ったりするロボットの能力に影響が出る可能性があります。

■ 充電ドック



■ リモコン

ご使用になる前に、リモコンの背面カバーをスライドして開け、付属の単4形乾電池2本を入れてください。



⚠️ ご注意

- マシンは運転中に前進を制御せず、左右方向のみを制御することです。
- マシンが掃除モードでないときのみ、リモコンを使ってマシンを前進させることができます。

ロボットボタンの状態

ボタン	ロボットの状態	操作	機能説明
自動ボタン	オフ	3秒間長押し	電源オン
	オン	ボタンを1回押す	スタート/一時停止
		5秒間長押し	電源オフ
ホームボタン	オン	ボタンを1回押す	自動充電

電源インジケーター	緑色	電量 $\geq 15\%$
	オレンジ色	電量 $\leq 15\%$
	赤色	故障・異常

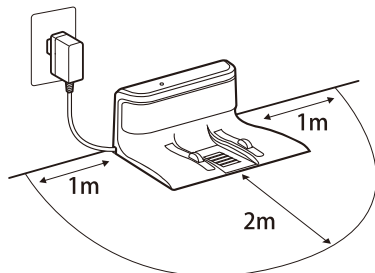
使用方法

充電のしかた

お買い上げ時、V3xは十分に充電されていません。はじめてお使いになる場合は、ご使用前に充電してください。満充電には約6時間かかります。

1 充電ドックを設置し、AC アダプターをコンセントに差し込む

- 充電ドックは、V3xが正しく自動でセットされるように、壁を背にして設置してください。
- 充電ドックの左右それぞれ1m以内、および前方2m以内のエリアには物を置かないでください。

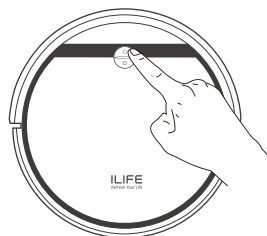


❗ 注意事項

- 充電ドックが電源アダプタに接続されると、充電ドック上部のインジケータランプが点灯します。

2 電源スイッチをオンにする

- オフの状態で自動ボタンを3秒間長押しで電源オン、5秒間長押しで電源オフします。



❗ 注意事項

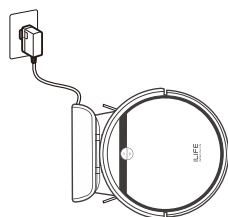
- ロボットの作業終了後、次の作業をよりよく行うために、マシンの電源を切らず、ロボットを充電状態にしておくことをお勧めします。
- 製品を10分以上一時停止させると、スリープモードに入ります。再起動には自動ボタンを1回押して製品を起動させてください。

3 ロボット充電

- 本体を充電ドックに置き、充電ピンの位置が合うように注意します。
- 充電中は自動ボタンがオレンジ色に点滅します。充電が完了すると、すべてのランプが消灯します。

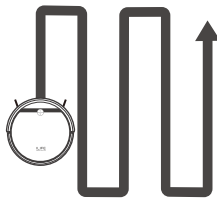
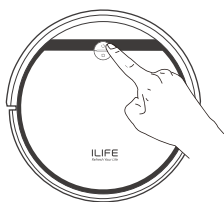
❗ 注意事項

- 毎日使用するときは、充電ドックの充電ピンの清掃に注意してください。そうしないと充電効果に影響します。
- 毎日使用する場合は、本機を充電ドックに収納し、充電ドックが電源に接続されていることを確認してください。（充電ドックに置くと、自動的に電源が入る）
- 長時間使用しないときは、満充電したあと自動ボタンを5秒間長押しして、本体の電源をオフにして、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。



4 掃除する

- 本体がすでに待機モードは、本体の自動ボタンを短く押すと、本体がプランニングクリーニングを開始します。または、リモコンの  をクリックすれば、ロボットがプランニングクリーニングを開始します。

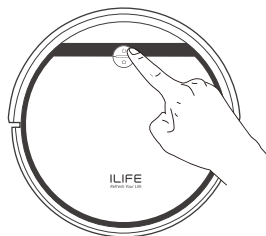


❗ 注意事項

- 掃除を開始する前に、本体自動ボタンとホームボタンが同時に呼吸し、本体がウェイクアップ状態になっていることを確認してください。本体がスリープモードの場合は、自動ボタンを押して本体を起動してください。
- 他のモードを選択する必要がある場合は、APPまたはリモコンで行ってください。
- ロボットは、作業プロセス中に自律的に経路計画を実行します。（一時停止を除く）、ロボットは経路を再計画し、掃引された領域を再掃引することができます。そのため機械の作業効率を確保するため、ロボットを勝手に操作しないでください。（ロボットが持ち上げられた場合、アラームが鳴り、掃き掃除が停止します。掃き掃除を再開するには、自動ボタン、APPまたはリモコンを操作する必要があります）

5 一時停止

- 本体が動作しているときは、本体のパネルの自動ボタン、リモコンの  またはAPPの「一時停止」ボタンを押す。本体は作業を一時停止します。



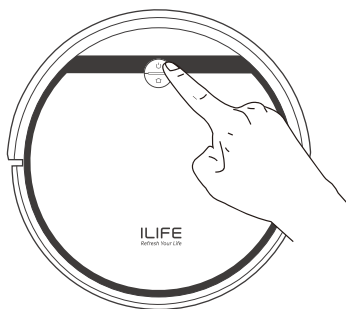
❗ 注意事項

- 製品を10分以上一時停止させると、スリープモードに入ります。再起動には自動ボタンまたはリモコンの  を1回押して製品を起動させてください。
- 本体は再起動時に経路を再計画し、清掃済みのエリアを再計画します。

*待機モードでスリープ、再起動、掃引を開始するには再操作が必要、次の掃引に属して、掃引記録は前の掃引に接続できません。

6 スリープモード

- 待機モードで何も操作しないまま約10分間が経過するとスリープモードに切り替わります。スリープモード中に、自動ボタンまたはリモコンの（スタート／一時停止）ボタンを押すと待機モードになり、もう一度  （スタート／一時停止）ボタンを押すとお掃除を開始します。



ウォータータンクのご使用方法

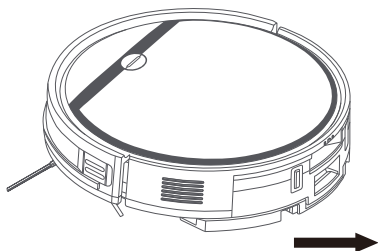
本製品には、掃き掃除とモップがけを同時に行える透水性モップが装備されています。モップがけの必要がある場合は、ウォータータンクに水を入れてから透水性モップを取り付けて使用してください。具体的なメンテナンス方法については、[メンテナンス]の章を参照してください。

！ご注意

- ウォータータンクをカーペットで使用しないでください。
- 水拭きの際にはウォータータンクに水が入っていることを確認してください。水を入れるときは、ウォータータンクを本体から外してください。
- 充電するときは必ずウォータータンクを本体から外してください。
- 水拭きをしない吸引掃除の際は、ウォータータンクの水を抜き、モップを取り外してください。

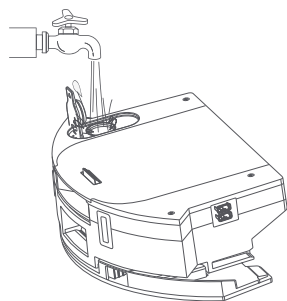
1 ウォータータンクセットの取り外し

モップパッドの両側にあるボタンを同時に押しながら、後ろにスライドさせると外れます。



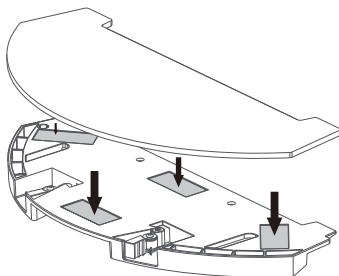
2 水を入れる

ウォータータンクの蓋を開けて、水を入れます。注水が完了したら、蓋をきちんと閉めてください。



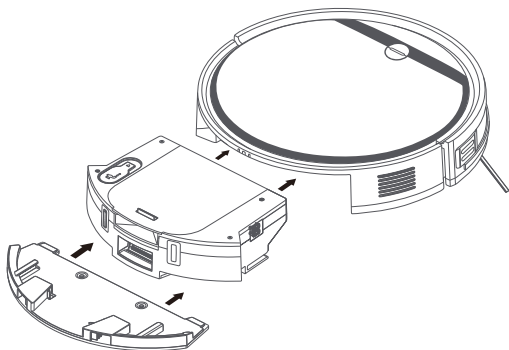
3 モップの取り付け

モップをマジックテープでモップパッドに固定します。



4 ウォータータンクセットの取り付け

- ウォータータンクを前方にスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- モップを取り付けたモップパッドを前方にスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込んでください。自動ボタンを押すと、モップモードで掃除がスタートします。

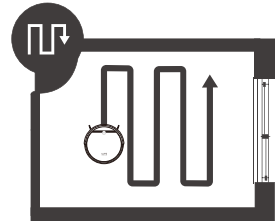


掃除モード

さまざまな床の状態に適応し、良いクリーニングを実現するため、本製品には複数のクリーニングモードがあり、APPまたはリモコンから選択できます。

1 プランニングクリーニング

プランニングクリーニングシステムにより、同じ場所の繰り返しや掃除の漏れがなく、部屋全体を掃除します。



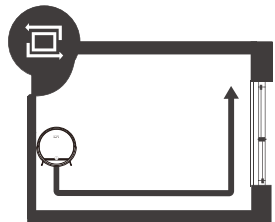
2 重点モード

ゴミが集中している地上の環境に適しており、指定エリアを「スパイラル」ルートで集中清掃します。



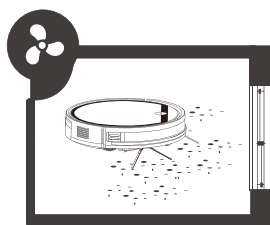
3 壁沿いモード

壁際に沿ってお掃除します。



4 MAXモード

リモコンとAPPを使用して、
吸引力をMAXモードに調整できます。

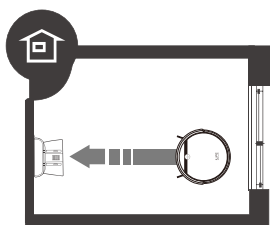


！ ご注意

- 掃除中、ホコリが多い場合は、リモコンの吸引力/水量調整ボタンを押して、ロボットの吸引力を調整することができます。初期吸引力は典型的「レベル2」、1回押すと強力「レベル3」、もう一度押すと超強力「レベル4、MAXモード」、もう一度押すと静音モード「レベル1」、もう一度押すと初期吸引力「レベル2」に戻ります。
- 吸引モード（重点モードを除く）でリモコンの吸引力/水量調整ボタンを押すと吸引力レベルが調整され、モップモードでボタンを押すと水量レベルが調整されます。
また、アプリを使ってロボットの吸引力と水量を調整することもできます。
（モップパッドを取り付け、ウォータータンクに水を入れ、ロボットをモップモードにした状態）

5 ホームモード

クリーニングの過程で、ロボットは自身の電量が不足していることを感知し、ホームモードを開始し、自動的に充電のための充電ドックを見つけることができます。



アプリコントロール

アプリのダウンロード

本製品はアプリで操作可能です。

以下のQRコードを読み取りアプリをダウンロードして、インストールしてください。



ILIFEHOME



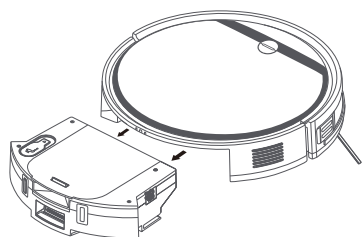
ILIFEHOME

メンテナンス

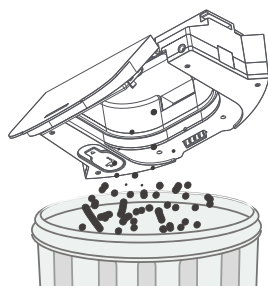
ダストボックスとフィルターのお手入れ

本体および付属品のクリーニングやメンテナンスを行う際は、本体の電源を切り、充電中でない状態にしてください

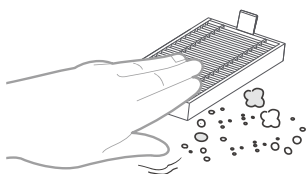
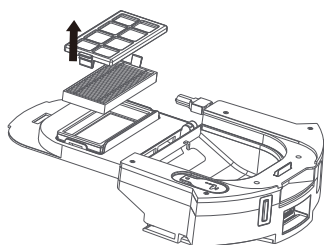
1 ダストボックスを取り出す



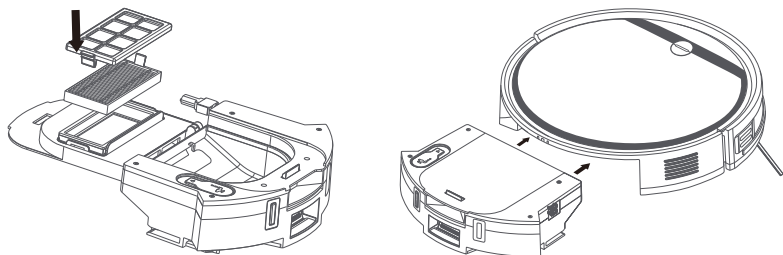
2 吸口に異物が詰まったりしていないか確認し、またその際は取り除いてください。ダストボックスのゴミを捨ててください。



3 高効率フィルターを取り出し、軽く叩いてホコリを払う



4 ダストボックスにメインフィルターと高効率フィルターを正しくセットし、ダストボックスを本体にセットする



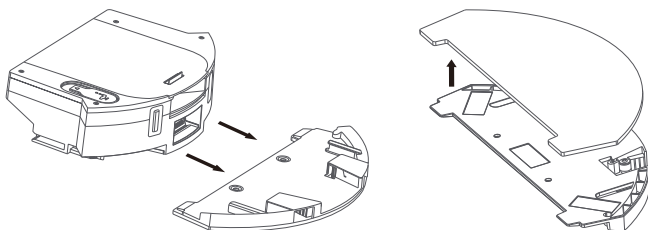
❗ご注意

- 高効率フィルターの水洗いは絶対にしないでください。

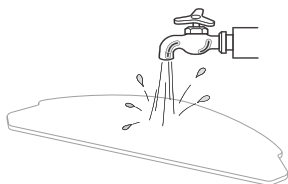
ウォータータンクセットのお手入れ

1 モップのお手入れ

取り外し：モップパッドおよびモップを後ろにスライドさせて取り外し、モップパッドとモップを分離します。

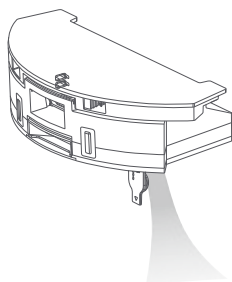


メンテナンス：モップを水洗いしたあと、十分に乾かしてください。

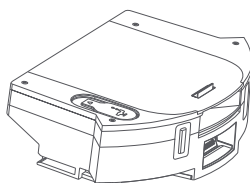
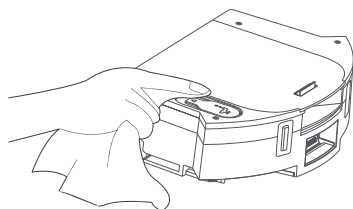


2 ウォータータンクのお手入れ

取り外し：モップパッドを取り外した後、ウォータータンクを後ろにスライドさせて取り外し、タンク内に残った水を捨ててください。



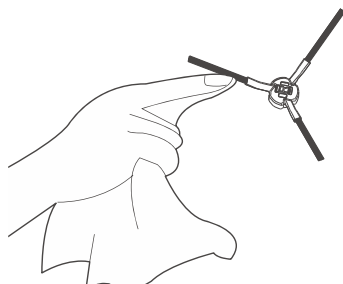
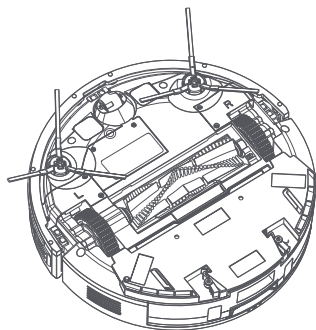
メンテナンス：ウォータータンクの外側およびモップパッドを乾いた布で拭いて、直射日光を避けて十分に乾かしてください。



サイドブラシのお手入れ

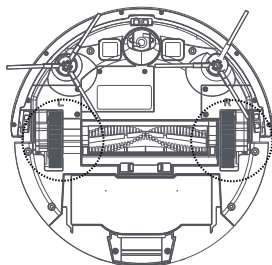
力をいれてサイドブラシを本体から取り外します。ブラシに付いたゴミを取り除いてください。

お手入れのあとは、サイドブラシの「L」「R」のマークと、本体底面の「L」「R」マークを確認し、元のように取り付けてください。

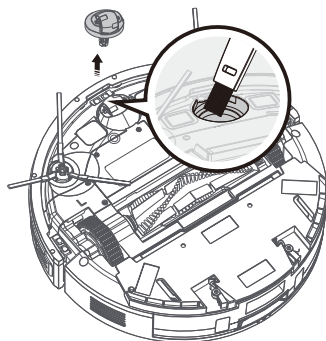


ほかの部品

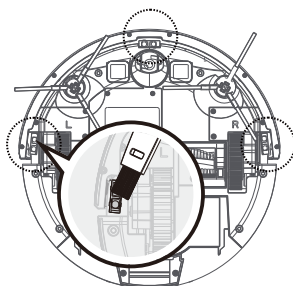
- 1 エラー音が鳴ったら、電源を切ってから側輪のゴミなどをチェックして、取り除いてください



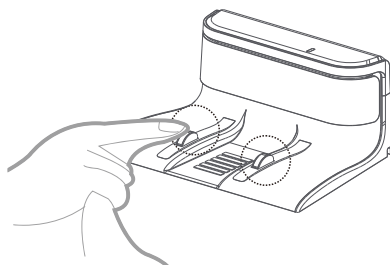
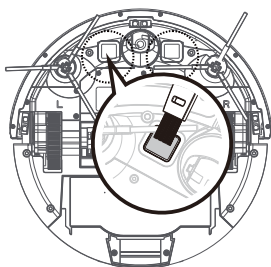
- 2 定期的に前輪を外して、髪の毛などの絡みがないようにしてください



- 3 定期的に柔らかい乾いた布で探知センサーを拭いてください



4 定期的に柔らかい乾いた布で本体と充電ドックの接触部を拭いてください



❗ ご注意

- バッテリーを長期間使用しなかったり、深放電状態で長期間放置するとバッテリー容量の低下の原因となります。このような場合、V3xを充電ドックで3分間充電し、一度充電ドックから外して、それを3回繰り返した後に5～6時間充電して満充電にすることをお勧めします。
- 本製品は、頻繁に交換する必要のない高寿命バッテリーを使用しています。交換が必要な場合は、アフターサービスにご連絡ください。

お困りのときは

エラー音について

お掃除中に不具合などが発生すると、V3xは「ピッ」というエラー音でお知らせします。

エラー音	原因	対処方法	参照ページ
ピッ (1回)	サイド輪の故障、 サイドブラシの故障、 ファン故障	サイド輪、サイドブラシ、 ファンの点検と清掃	P.22/P.23
ピッピッ (2回)	落下防止センサー故障、 OBS故障、バンパー故障、 平地から離れたマシン	柔らかい布で落下防止セン サーを拭いたり、バンパー を軽く叩いて異物があるか どうかを確認してください。	P.23
ピッピッピッ (3回)	V3xが動かない	正常に動作できる場所に 移動してください。	—
ピッピッピッ ピッ (4回)	ローラーブラシの故障、 ジャイロスコープの故障	ローラーブラシをチェッ クし、清掃し、マシンを 別の場所に移動する	—

❗ ご注意

- 上記の方法で解決できない場合は、以下の操作をお試してください：
 - まず5秒間長押ししてマシンの電源を切り、次に3秒間長押ししてマシンを再起動してください。
 - マシンを再起動しても問題が解決しない場合は、マシンをアフターサービスセンターに修理に出してください。

お知らせ

製品仕様

外形寸法	本体：φ約330mm×330mm×約79mm 充電ドック：約152.2mm×221.4mm×87mm(幅×奥行×高さ)
質量	本体：約3kg 充電ドック：約220.5g
ダストボックス容量	0.3L
ウォータータンク容量	0.25L
使用電池	本体：充電式リチウムイオン電池
充電時間	約6時間
連続使用時間	約120分(満充電)

保証書について

- 保証期間内の製品については、ILIFE保証規定が適用されます。必ずご覧ください。
<https://www.iliferobot.jp/article/i-834/>
- 本体（内蔵電池を含む）の保証期間はご購入日から1年間です。
- サイドブラシやフィルターなどの消耗品は、保証の対象外になります。
- ご購入の際に、保証書は「ご購入日・販売店名・注文番号」などの記入を確かめたうえで、本書とともに大切に保管してください。修理を依頼されるときは、お手元に保証書をご用意のうえ、ILIFE カスタマーサービス（→裏表紙）にご連絡ください。

ネットワーク設定手順：

- ① QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードします。



- ② アプリにアカウントを登録します。
- ③ 特定のデバイス モデルに応じたアプリのネットワーク設定手順に従ってください。

⏻/⏮ ボタンの説明:

電源/クリーニング/一時停止



- AUTOボタンを3秒間長押しで電源を入れ、5秒間長押しで電源を切ります。
- ボタンを押すとクリーニング開始/一時停止します。

充電/一時停止



ボタンを押すと充電または一時停止します。

ネットワーク設定

「⏻」と「⏮」を同時に押し、3秒間長押しすると、WiFiインジケータライトがゆっくり点滅します。

